週刊 時事経済

発行所
平市南町71
株式会社
時事経済新聞社
主幹　田原登
電話　4775
毎週　土曜日発行
定価3カ月　百円
一部　五円

勉強で評判の店
丸万家具店
店舗　平市四丁目　電六六三三
工場　平市白銀町　電六六三四

パシフイツク（大平洋）ラインン

観光連盟役員会で承認

県議会に近く提案

スカイラインの向うを張ったわけではないが常磐地区観光連盟（会長諸橋久太郎氏）では大平洋（パシフイック）ラインと称する山岳ライン、海岸ラインを結ぶ百四十キロの建設計画を樹て、石城の温泉計画と併行して石城の大観光地帯化に乗り出した。果してこの計画は実現出来るかどうかと人々の度ぎもを抜く大設計だが、この大きな案を去る四日開いた役員会にはかったところ満場一致で可決した。よって同連盟では近く県議会に提案採択してもらうことに運動を開始した。

鯨岡事務局長の話＝石城の山と海の景観は全国稀に見る優秀なものだがいかんながら交通網が寸断されていて容易にこの景観の全容を見ることが出来ない。石城の大温泉計画と相俟ってパシフイック（大平洋）ラインの建設計画を樹したわけだが、これが完成すればスカイラインなどの数倍の大規模であり、車で数時間でこの景観の全容に接することが出来るので全国から観光団体がどっと押掛けることは間違いない。

観光、観光といっても従来のようなチャチな考え方では石城に観光客を呼ぶなどということは不可能だ。この計画の実施は工費は数十億を要するものと思われるが県議会の議を経て道路公団その他中央の資金を入れてやれば出来ないことはない。

スカイラインは有料で四億円ばかり道路公団から借りて二十年越で返す計画だったものがわずか三年か四年で返せる見通しだ。

パシフイックラインは産業道路にもなるし石城の観光客誘致策にはこれを実現して成果をあげるつもりである。

平逓信診療所着工

平逓信診療所は平市南町の加沢医院跡で診療していたが、今度新築することになり市内堂根町四ノ四（市役所の南側）に敷地を求め、堀江工業が五九七万三千円で請負って着工した。鉄筋コンクリート平家建のモダンな診療所に生れ変るわけで来年の二月末日に完工する。建坪は七八九・七八平方米（二三八・九坪）で設備は事務室一、薬局一、処置室一、診療室一、試験室一、所長室一、レントゲン室一、休憩室一、患者待合室一、雑務室一からなり今までの、昔造りの診療所は一変して明るい近代的なものに生れ変ることになった。

文化史展幕開く

初日から大入満員

石城文化史展覧会は去る十日から平市商工会館で十四日迄開催するが石城の重要文化財がやく百点、東京国立博物館からの特別出品もあって珍しいものばかり出陳されたので初日から生徒、児童を始め一般の入場者が続々つめかけている。十三体の仏様は特別に出開帳として善男善女が参拝する姿も多く、何しろ空前絶後の催しとあって鑑賞家が遠くからも押しかけ賑っている。

柔道審査会

磐城柔道会（会長沼田一夫）では今年度秋季の柔道昇段審査会を十一月十三日（日）午前九時平工高体育館で開催する。審査料は初段二百円、弐段参百円、参段四百円で、審査員は阿部七段ほか五、六段の高段位者で審査される。参加者は百余名になる模様。

五氏に大物賞

平釣友会（会長鈴木一男氏）の松川浦でのつり大会は去る六日二十一名参加して行われた。好天だったが強風にわざわいされ、それでも最高二貫五百匁ぐらいのハゼ、アイナメなどの釣果で、大物賞は左の五氏に授与された。

▽ハゼ丹治信男▽アイナメ赤川晃▽ボラ佐々木誠▽カレイ高沢右暁▽黒だい笹本正

第155回関東・中部・東北
「福の字くじ」宝くじ
一等　200万円
抽せん11月24日
受託　日本勧業銀行

終盤戦

依然、四人のせり合

猛烈な追い込み戦展開

鯨岡事務局長の話＝石城の山と海の景観は全国稀に見る優秀なものだがいかんながら交通網が寸断されていて容易にこの景観の全容を見ることが出来ない。石城の大温泉計画と相俟ってパシフイック（大平洋）ラインの建設計画を樹したわけだが、これが完成すればスカイラインなどの数倍の大規模であり、車で数時間でこの景観の全容に接することが出来るので全国から観光団体がどっと押掛けることは間違いない。

観光、観光といっても従来のようなチャチな考え方では石城に観光客を呼ぶなどということは不可能だ。この計画の実施は工費は数十億を要するものと思われるが県議会の議を経て道路公団その他中央の資金を入れてやれば出来ないことはない。

スカイラインは有料で四億円ばかり道路公団から借りて二十年越で返す計画だったものがわずか三年か四年で返せる見通しだ。

パシフイックラインは産業道路にもなるし石城の観光客誘致策にはこれを実現して成果をあげるつもりである。

平逓信診療所着工

平逓信診療所は平市南町の加沢医院跡で診療していたが、今度新築することになり市内堂根町四ノ四（市役所の南側）に敷地を求め、堀江工業が五九七万三千円で請負って着工した。鉄筋コンクリート平家建のモダンな診療所に生れ変るわけで来年の二月末日に完工する。建坪は七八九・七八平方米（二三八・九坪）で設備は事務室一、薬局一、処置室一、診療室一、試験室一、所長室一、レントゲン室一、休憩室一、患者待合室一、雑務室一からなり今までの、昔造りの診療所は一変して明るい近代的なものに生れ変ることになった。

んこどの選挙は、第一に安保改定の是非を問うことにある第三区浜通りは終盤戦に入って六候補は今や最後のゴール目ざして突進しているが、共産党の折笠藤雄、無所属の秀賀武氏らは依然振わず、自民党公認木村守江、斉藤邦吉、社会党公認松井政吉、民社党公認武藤武雄の四候補で三つのいすをねらって最後の追込みに入っている。

斉藤派は最初からトップを切り相馬の固い地盤のうえに双葉、石城への目ざましい進出ぶりを見せているのでトップでゴールインすることは間違いないようだ。だがから廻り気味だと同派は必死の追込みを続けている。次で木村派も相馬への切込みも相当の効果をあげた石城の地盤を蚕養されるのを防ぎ、双葉もまた善戦しているようで二位でゴールインを目ざして必死になっている。

大野伴睦氏がこのほど来援、木村を落せば石城の損になる石城人は笑われる。総合開発など天事業を控えて木村に与えられた仕事は大きい、是非当選させてくれと願って帰ったが、その声援に呼応して木村を出せとの声が急にあがって来たのであるいは二位で入るかも知れない。革新派の武藤、松井は前回は同じ社会党員だったが、武藤氏が民社党員になったので両者のはげしいせり合いは各所に展開されている。主として労組などの組織票をねらっているが、今のところ互格の勝負と見るものもあるが、武藤派は常磐炭礦山ぐるみの支持に前回同様傾いて来たのと、前回松井支持だった大日本炭礦労組も武藤支持にきまった等から俄然勢いづき、二位でゴールイン確実と張り切っている。

一方社会党の松井派は前回は武藤派と地盤協定などしたためと武藤派の物量の前に屈服したが、今度は自由な戦が出来、どこの組織票の中にも松井支持票が多いから雪じよくは必ず出来る。七万票の獲得は不可能でないと最後の追い込みに必死となっている。果してどういう結果が生れるか三十万有権者の向背は注目されている。

政見放送日

木村守江候補
NHK
十五日　后八時三五分より五分間
十九日　后八時四〇分　〃

斉藤邦吉候補
NHK
十五日　前七時十五分　〃
十九日　后八時五五分　〃

武藤武雄候補
ラジオ福島
十八日　后六時五五分　〃

松井政吉候補
ラジオ福島
十六日　后六時五〇分　〃
NHK
十九日　后八時三〇分　〃

岡見が岡

大臣賞で一句

平市役所職員勝倉文雄氏は自治大臣賞を受けたので諸橋市長は左の一句を作り贈った。

勝倉や大臣賞を納め込み

この選挙で浜通り第三区の候補者中斉藤、木村などは大臣になれる素質をもっているから気強い▼中通りや会津方部の候補者と比較して見ると革新系の武藤、松井氏らもぐっとよくその点ではこの区は恵まれている。▼地元の神さまはありがたくないと思うのは人情だが青い鳥をさがし廻ったチルチル、ミチルは最後に幸福は手近なところにあったことを知った▼粒揃いの候補者だからそのなかからこれぞと云う人を選んで地方のためまた日本のために働いてもらう。そのために棄権は危険だと思う。

論壇

松林桂月画伯を名誉市民にすい戴

田原登

八十五才の日本画家松林桂月翁を平市の名誉市民にしたいと去る三日平城懐古の詩碑除幕式に当り百余名の参列者が満場一致で賛成した。名誉市民と云うのはどう云う資格のものを云うのか、まだ市の条例にもないので常識的に考えるしかないが、私の思うのには七万市民のもっとも尊敬する人物であるということでなければならないと考える。

松林画伯は日本画壇の重鎮で文化勲章を始め文化関係の殆んどの勲章をもらっている。山口県出身で士族であった関係等から本県白河藩の松林家に養子になり、兄は高等蚕糸を出て本県の蚕糸課長となり母は一緒に福島市に住みここで亡くなっているなど本県とは深い関係を生んでいる。

平市との関係は終戦後諸橋元三郎氏とじっ懇の間柄となりそのため平城を懐古した詩を作ったことから詩碑を建てるまでに発展し、平市文化向上のために大きな貢献をしたのである。この詩は全く名作で詩吟として後世に伝わるものと思われる。

仙台市は「春高楼の花の宴」の有名な詩を作った土井晩翠先生を名誉市民に仰ぎ、先年亡くなったが、仙台市の例から見ると松林画伯の名誉市民として仰ぐことはよいかも知れない。松林氏はお年のせいもあってか名利を捨て無欲てん淡な人のようで、今更ら名誉市民にされたからといってどうということはないようだが、平市としてはこれに関する条例の設定から市議会の協賛を経なければならない。平市はじめての問題であるので敢て記したまでである。

常に楽しめる男子服の御調製は
▷全日本洋服連合会員の店◁
小松洋服店
小松七郎
平市才槌小路
電話 5613番

財団法人 松村病院
労災指定病院
健康保険指定病院
国鉄嘱託医
外科　院長　松村亨
整形外科　部長　堀野愛雄
性病科　医員　豊川保雄
内科　部長　高木浩雄
胃腸科　部長　四戸隆太郎
神経科　部長　坂本剛
呼吸器科　部長　金子甚蔵
産婦人科　部長　佐藤稔
精神科　部長　坂本剛
放射線科　部長　四戸隆太郎
技師長　池田繁一郎
臨床検査部　技師長　佐藤吉雄
薬局　薬局長　宇佐見幸良
本院　平市南町二三
城東分院　平市手搦町二九
城南分院　平市小太郎町一八
電話（代表）二一六一～三
完全看護・完全給食
産室新設　入院・往診随時

仏美術具品雑額漆器貨楼
記念品と御引物なら
平で一番安い店
小松漆器店
平市一丁目
電話 3292番

越
三階衣料売場
女児トッパー（三才）四百円～八百円
〃（七才）九五〇円～千三百円
〃ワンピース（三才）千百円～二千円
〃（七才）八百円～千九百円
男児イートン（上下組）千五百円～二千円
二六五〇円（三階衣料品売場）
募集　男女店員　各二名
七五三のカマドは賑ぬ
終戦ごろの七五三はモンペをはいて宮参りでしたが、今のお祝着の立派さにはホトホト感嘆するばかり。品質もデザインも極上の上。
七五三用お祝着セット（帯留、扇など）
平市
藤越

美術品は生きている

村越利雄

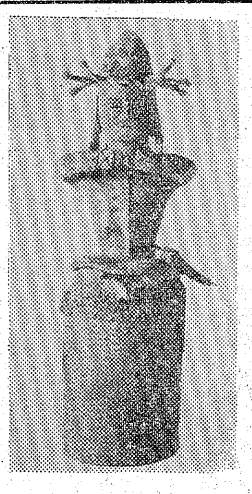
（一）

美術品というものは不思議なものです。我々の先祖である古代原住民の造った土偶やハニワを初めとして、仏像や仏器の様に信仰の対象として作られたもの、それに刀剣や鎧等の武具の類、それから墨跡、絵画、彫刻、珍器、什宝骨董等に至る迄、此等の美術品はすべて生きております。

この美術品は作られた当時の遠い遠い昔から現在迄長い長い生命をもって生き続けて来ましたが、更にこれから先の何百年、何千年もの間、同じ様に生き続けてゆきます。

我々人間の生命は消えては生れ、生れては消え、親から子、子から孫えとその生命が永劫に続いてゆく様に、美術品の生命も永劫なものです。かげに我々が信仰の対象として崇めている神仏に例をとってみましょう。此等の神仏に対して我々の先祖の武人はその出陣にあたり、我が身の武運長久を祈願し激しい戦斗の間にも神仏の加護を祈り続けていたことでしょう。

商人はその一家の繁栄と家運の発展を願いし農家は五穀の豊穣をひたすら望み、病人はその病の平癒を心から祈願したことでしょう。



此等の切なる人々の祈願に対し神仏からはいろいろの形になって何等かの反応が必ず現われたに違いありません。

武人には赫々たる武勲となり、商人にはその一家の繁栄を来たし、農家には秋の稔りを、病人には難病の治癒という様に種々の形となり反応が現われて来たことでしょう。これはこの神仏である美術品にも生命があるからだと信じます。生き物である美術品に対し、古来種々の伝説が生れある時は美談となり、奇談珍を生じ、又ある時は怪談となって現われるのは当然の事であります。私は過去三十年もの長い間、時価としては一千万円以上のものから、百円、二百円という所謂下手物迄種々の美術品を取扱って参りました。しかし価格の高い安いを問はず、これ等の美術品はすべて生きていました。そして之を取扱う人々に種々の反応を与えて参りました。

此等美術品は天災や火災等で消滅しない限り、あるいは神社や仏閣に安置されて我々に崇められ、又は人から人の手を転々としてある時は愛されある時は捨てられ、数奇な運命にもてあそばれて、あたかも我々人間がたどる運命に全くよく似たものがあります扨て私はこれから美術品が生きているという実証を私自身の体験やら他の人々の経験やらを取りまとめて、三三記してみたいと思います。

平市五丁目
大谷石
井上
電二〇六六

犬養道子ら講師

ヤマニ書房で講演会開く

平市駅前ヤマニ書房では創立二十周年を記念して来る二十六日（土）午後二時から聖女講堂で文化大講演会を開くことになった。当日の講師は犬養道子「世界の裏窓」野間宏「現代をどう見るか」亀井勝一郎「言葉の衛生」と題する著名な三人の講演がある。入場無料であるが整理券先着順に出すから希望者は早く申込むよう望んでいる。

短歌

雪割橋　谷東治二

▽平垣の厚の如きに
雪割橋
こゝにはかに
裂くる地殻か

▽らんに倚り見下す溪の
菁くふかく
めまひくるめき
足こそばゆし

▽橋に立ち溪のふかきに
驚きつ
投げし小石の間あり
音する

▽雪割橋ここに自殺の衝動の
あやしきは　言はじ
溪は静けし

▽とびおりて愛子（まなこ）
小鳥になりとふ
伝説も　生（あ）れむ
橋と溪谷

▽軍馬補充部ありしと伝ふ
路の辺に野草となりて
チモシー生うる

▽架橋より自殺せる
人のありやなしや
溪流ふかく
まなこくるめく

三五・六・一一）
詠者は内郷高校長

湯流絶景
奥飯坂八幡温泉
穴原ホテル
電話七二三八

南伊豆海岸
稀有の美
温泉
白雲閣
平市ホテル支店
電話二三〇

ブラジル視察談（二）

浪江町長　石川正義氏

だまされた人が成功

都市の近郊ではげむ

パラナ州の山形農場で働いている若夫婦が遠い便りをくれたが、その農場では馬鈴しょを主につくっておりなんと一万俵獲れるそうで、一俵が二千円の値だから年収ばぼう大なものとなる。こちらのものと違ってつぶの小さな馬鈴しょをつくりそれが大いに賞味されている。

戦前、マリリヤにコーヒー園をもっていた私のおじは戦後そこを売り払って出て来てサンパウロで米穀商を営んでいるが、こういうふうに奥地の土地に執着しないで思いきってサンパウロ近郊又は海岸に近い所の人口の多い地帯に根拠を構えて新たに仕事を始めた者が成功している。

先ほどの私のおじのコーヒー農場で請負耕作をしていた（一定の土地で年に幾らと決め経費は地主もち）宮口という若い夫婦は戦後大きな成功を遂げた。昭和二十五、六年に土地を借りてトマトをつくったところが三年間で一千万円の利益を得て、それを元手に幸い時計屋の年期の終った息子が居たので時計店を始めたのですが、今ではサンパウロに「京都」という屋号で貴金属商を兼ねて大きな店舗をはっている。恐らく平や仙台にはあれだけの大きさの店はないと思われます。一日の売上は十万円を下らず七、八人の従業員を使っている。

外国に行って、まず言葉が判らないので苦労しました。三、四年間は苦労の連続で、言葉やその国の風俗習慣を身につけなければなりません。また少しばかりの金を持ってゆくと一攫千金を夢み、自分の金に頼って人に使われるのを嫌い失敗する例が多い。かえって金を持たず背水の陣で飛びこんでゆくほうがうまくゆくようです。

むこうは物価が安くビールが一本二十円牛乳が一キログラムが百二十円酒がむこうのいわゆる大衆酒であるペンガ（酒精分三五度）が一リットル二五円、砂糖が一キロ四十五円という具合。

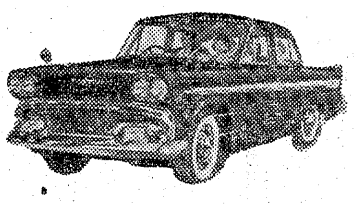
海外移民を国が促進し援助する場合、国際法で国が外国の土地を買う事は出来ないから、我が国で海外移住振興株式会社というのをつくり、それが南米に八万町歩の土地を買いもとめ整地し道路を敷き区画整理もしている。二五町歩を単位にして移民を呼びかけているわけです。しかし、移民をして家を建て最初の収穫をみるまで五十万円位が必要です。現在の移民のうち八割が呼びよせ移民でしかもその三割くらいが駄目な人達でまあこれからはだんだん良くなってくるでしょう。

戦前からの人達は第二次大戦で非常に苦労しました。ブラジルの奥地には通信が届かず悪らつな奴が価値のなくなった日本の軍票を沢山摑んで奥地に入りこみ、日本は勝った日本は勝ったと宣伝して持って来た軍票をだまして売りつけたので、奥地の日本人は「勝ち組」と、いや本当は敗けたんだという「敗け組」とが対立していたのだが、結果的にはだまされた「勝ち組」が奥地の土地をすべて借地農を始めたのが近郊農業の成功のはじめとなったのです。奥地で土地に執着していた者より近郊農（都市は奥地にはない）になった人達の方がずっと発展したわけです。

昔、日本からこの別天地に幸福を求めて来た人々の胸には常に故郷への思いがあり、いつの日かは金をためて帰るのを夢みつつ仕事に励んで来たのでしょう。そこにはどんな苦難にも打ち勝つべきものがひそんでいたのです。しかし、こういう一世とは違って二世や三世は日本を知りません。日本なつかしの心がないのです。

（つづく）

× × ×

タクシーのご用命は
（電代）2175. 2640
好間営業所は 5372
草野営業所は 5647

平市二丁目
尼子タクシー

株式会社
常磐ヤンマー製作所
平市一丁目　電四三二六・四三二七

開設
内外建設株式会社
福島営業所
営業種目
★土木（現金工事、半金即時建築その他）
★建築（建築資金の御相談も致しますので御気軽に御出下さい）
★設計
★土地
内外建設株式会社福島営業所
平市南町六九　電三二三三

公認
不動産売買仲介評価貸家斡旋
平宅地建物取引所
平市才槌小路踏切際　色川材木店内電二三六一番

銘菓
水戸山
全国銘菓協会加盟店
本舗
大丸
店主　大木吏郎
平市南町　電三六〇九

土木建築
株式会社
翁組
平出張所
所長　吉田満
平市田町一ノ四
電話二、〇五六

ネクタイ　ワイシャツ
化粧品　バンド
平駅前大通　電5721
ランドセル　鞄　靴
平市二丁目　電5722
帽子　学生帽
平市三丁目大通電5723
百合

開店
既製衣料品卸小売
安斉商店
紳士服
婦人服
安斉春吉
問屋　平市新川町三六
日伸印刷所隣電（呼）三四五三
販売員二十名募集　収入二万円

平市計画の公営魚菜市場

民間市場を生かす

消費者、経営者ともに利益

平市では農業振興十カ年計画をたて、十年後には所得が倍増し二十億円の収入があるようにすることが目標だが、そのなかに公営魚菜市場の建設計画があり、その実施は直接需要者に影響を及ぼすので非常に注目されている。荒井農林水産課長の話によると、公営と云っても現在の民間で経営している魚菜市場を生かし市はその監督の立場に置き経営するやり方で現在の魚菜市場の合併を前提としない。農林省はいま市場法の改正に乗り出しているが、その趣旨によって市は広大な市場を建設し、そこに現在の魚菜市場を収容するのである。こうすることによって衛生上また価格の適正、市場の信用を確保して消費者もまた市場経営者もともに利益を得るようにしたい。市は市場の賃貸金と売上げの一分ぐらいを取ることにすれば年間市の収入は四、五千万円ぐらいになるものと推定される。問題はその敷地の確保で三千坪～五千坪ぐらい必要になろう。

盤城水道工業　平営業所開設

盤城水道工業株式会社（本社は白河、社長原芳雄氏）の平営業所（所長山内孫次郎氏）がこのほど平市銀治町二二酒井方に開設された。平市の大塚前水道課長が技師長で、業務は水道関係の調査設計、水道資材販売、工事請負をする。浜通り一円が同営業所の業務範囲である。

ぼんそうわる　南町に開店

平市南町釜屋の番頭山田磐麿氏の隣りに近日中「ぼんそうわる」という名でコーヒーとウイスキーの店が誕生する。勤めの帰りに一寸一杯というに恰好の店。

漁業振興策を協議

十二日小名浜、十四日中の作

最近における水産界の一般状勢は前途楽観を許さないものがあり就中北洋漁業は業者自体が大きな壁に逢着し、この打開に腐心している。こうした業者の共通の悩みを如何にして解決するかについて、かねて県水産事務所においても研究しているが、十二日小名浜で関係業者を招き中央情勢の検討、本県北洋漁業組合の組織強化等を議題として協議会を開くことにした。次期通常国会に沿岸漁業振興法案が提出される矢先、沿岸漁業の将来の方向づけと共に遠洋漁業のあり方についても研究の要ありとされ来ったことはともすれば退潮的傾向にある漁業界にとって光明をもたらすものと期待されている

ゲージ養鶏に補助

集落モデル地区設置

農業の多収穫時代はすぎて金一城事務所ではこうしたことでとりあえず養鶏の振興をはかるため十戸乃至三十戸を一集落とするモデル地区を一、二カ所設けて指導、近年流行して来たゲージ養鶏に対してゲージ購入費、初生ヒナ購入費等にそれぞれ三分の一の補助金を出し、その他施設事業に融資の斡旋、利子の一部補助などで奨励することになった。石城郡下には十六万羽の鶏が飼われ、平市の高久、夏井、豊間、勿来市川部など養鶏は盛んで、一戸で二、三千の大羽数を飼って実績をあげているものもあるが、大部分はバタリー式養鶏で、ゲージ養鶏はこれ以上の効率である点からゲージ購入費に補助をくれることになったもので、集落地を多く設置し一戸百羽から五百羽ぐらい飼わせ収益をあげさせようという狙いである

施策方針を研究しているが、

東京の内外建　設平市へ

東京港区、内外建設KKではこのほど平市南町六九に福島営業所（所長田一鹿氏）を六日から開設した。電話は三三三番。

善光寺詣りの会員募集

長野善光寺詣りと甲府の昇仙峡観光の会員を力行会観光部で募集している。十一月二十日から二十二まで二泊三日の旅で、募集会員は五十名。会費六千六百五十円、二十日午前七時四十八分上り平発準急ときわで出発、長野市泊り二日目は甲府湯村温泉に宿泊二十二日六時四十三分平着である。

従業員募集

男子店員　五名　何れも年令十八
女子店員　二五名　才以上
待遇　住込五〇〇〇円以上
外に手当あり
通勤は面談の上決定
勤務時間　一日二交替

近日開店予定のパチンコ店希望の方は左記へ御申出て下さい
平市三丁目三ノ九
交通公社平支所隣り　金沢商号とマーク募集中

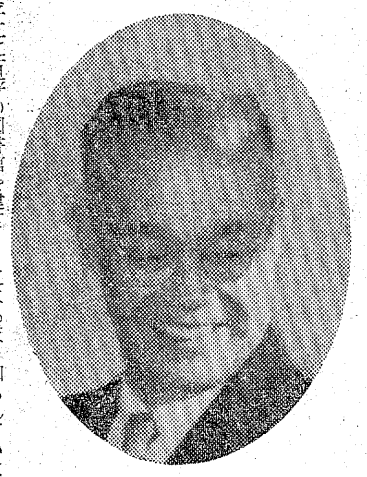
皿灰

平城懐古の詩碑が出来上って平名所が一つ加わった。見物人も毎日押掛けるとのことだ。除幕式の状況を尚古庵主人猪狩四郎氏がテープレコーダーにとり永久に保存しているが、式と祝宴が終って最後に尚古庵で松林桂月翁を囲んで関内正一、永山勇吉、鯨岡多久氏らがノド自慢をやって桂月翁をなぐさめた。特に関内氏の最高芸術トンコ節はなかなかよく上気嫌だったことがうかがわれる

あたりバッタリ訪問記 ⑮

中央実業界の雄

図書館を寄附する戸部光衛氏



平工に百坪の図書館を建てて寄附する戸部光衛と云う人はどう云う人かと知りたがる人は多い。石城の古い実業人はよく知っているが、若い人々にはあまり知られていないそれで戸部氏をよく知る人を通じて氏の横顔を描写したのが本文である。

戸部氏が平工には戦前二十三万円を寄附したのを始めに二十六年第三校舎の屋根を瓦ぶきにふき替えたり、二十九年体育館建設のとき百万円、この秋には同校庭に設けていた実習用第二工場二百坪一棟今度寄附する図書館など現在の金に換算したら一億円以上を学校に寄附し、その徹底ぶりは何人も驚いている。学校側の感謝はもとよりだが金を持っている人々への公共心昂揚のためにも大きな示唆を与えるものであることも云うまでもない。こうした意味で戸部氏の存在は生きいる社会教育家でもあるワケだ。

こうした大金を公共のために出しているが、それでは戸部氏は、全国にまたがる事業地にことごとくだしているかと云うとそうではない。平工にだけ協力しているようだ。それは戸部氏が事業を始めた根拠地が石城だからで石城があったために今日の地位を築くことが出来たという感謝の気持からに相違ない。栃木県馬頭町で明治二十一年に生れたので現在七十二才だが、まだかくしゃく。

土地の中学を出たばかりで大志を抱いて石城にやって来たろくな金を持っていたワケでなく内郷市白水に住み小さな白水の朝鮮炭礦と云われたものを賣って仕事を始めた。随分苦労をしたらしく、お粗末な家、ムギメシの一汁一菜、詰エリの服と云った質素な生活を続けて、現在では地方実業人から中央一流の実業家として押しも押されもしない地位を築き上げウソかほんとか知らないが、いざ鎌倉と云うときには兄の菊地寛実氏と二人で関係会社に号令を掛ければ三日にして四十億の現金が集まる実力があると云われている。

戸部氏の関係会社は石城では戸部鉱業、平工製作、戸部石炭平出張所、傍系では東部産業、鳳城炭鉱など三十ぐらいだが、九州の日本炭鉱は常磐炭鉱の倍ぐらいの大きさで従業員二万人もいる会社の社長、合同酒精の取締役、有名な船橋ヘルスセンター取締役とか全国に五十いくつかの関係会社があり、現在東京大田区新井宿二に住んで北は北海道から南は九州までさい配を振うためにかけずり廻り、平市にも月二回ぐらいやって来る。

頭がよく細心ち密で、三十年ぐらい前に入坑した炭鉱の穴の中のことでも忘れずどこがどうなっているかを知っているので従業員たちも驚ろくとともに誤魔化せないと舌をまくほどだ。

機械工業の優秀な専門技師を委嘱して先進国の技術をとり入れ業界の先端を行くので事業は益々発展の一路をたどっているそうだ。事業一本槍にきたえて来た事業の鬼である。だからこそ大成したものであろう。長男晃氏は戸部石炭の常務で東京に、次男英昌氏（三四）は平市で関係会社の監督の任務を背負い戸部王国を支え発展している。

文化洋服ダンス
東京ロッカー
東京ロッカー工業株式会社製
すばらしい・近代的・組立式ロッカー
ハードボードと軽合金を利用した堅牢なロッカー
外務員募集中
福島県総代理店
早坂商店
平市旧城跡１　電 5,649

給水掛水工事、ポンプ取付、衛生設備工事、浄化槽工事
平水道工業所
所長　佐藤昭信
事務所　平市大町渡辺工務所内
電話　四二二三番

平の代表的土産品
平の生んだ世界的作曲家八橋検校の作曲せる名曲「六段の曲」を記念する
銘菓　六段最中
六段本舗　平凡　平駅前
電　２５０９

アメリカとび歩き（5）

平鉄工協理事長　関口義久

バッファローは工業都市である。米国五大湖より流れ来るナイヤガラ瀑布の近郷都市我々一行は、早速ナイヤガラの滝に向った。米国領であるが、観光をするためには英領カナダに行くと眺めがよいので国境を越えて行かねばならない。此処でパスポートを出して検問を受け認証をしてカナダ領に入る。

我が国の様に四面海と違って川一つ向うが異国であり、一つの橋を渡るにも手続の面倒さに面食う事は国際間の如何にむづかしいかが伺われる。カナダの国でも同様に旅券に対し署名を受けて時間まで制限を受ける。我々は五時間の許可をもらって滝に向った。

写真等で御承知の様に中程に島が有って雄大な滝が目前に現われた時は目の覚る様な感がある。滝つぼまでは三十米以上あるそうで川には観光船が走っている。見物人は何千人という程いる。世界的な観光地だけあって周囲も良く整備されており花壇や噴水等の施設、芝生の工風も又格別である。

カナダ入国不許可

全学連のデモ騒ぎたたる

時間の制限を受けている我々は時の経るのも忘れて見入っていたが、この近郊に世界第一という花時計があるのでそこに車を走らせる。

途中今盛んに発電所工事が行われていた。話によると百万キロの発電所という。直経三米もある水道管が十三本整然とならんで近代機械の粋を動員して作業をしている。

田子倉の発電所を見て驚いた私であったが之にはまた一入驚いた。何と三倍強である。ナイヤガラ川の水を利用する由でこれは米国領に建設されつつある。我々が今立って見学している足元にはカナダの発電所が盛んに運転しているがこれまた大きな発電所である。豊富な水と自然の地を利用しての産業の原動力を送り出している。

間もなく花時計に着いた。成程大きい、直径二十米もある時計で三針であり、この時計は一秒の差もなく時を刻んでいた。広々とした公園の中央に位して方角も定められている位置も分る様に成っている。よくも作ったものだと思う。ここには珍らしい物が沢山ある。米国と加カナダを結ぶナイヤガラ川に掛けられたロープウエイ。川の中央まで突出た展望台等尨大な費用をかけて造られている。

時刻も切迫したので名残を惜しみつつ帰路についた。ここでまた旅券を出して検査を受け買物をしたものまで検査を受け、高価な物には税金を果せられる。

次の予定日は（ペッツバーグ）八月十八日ここではUSスチールを見学の予定で、ホテルから連絡を取って見るとお願して再会を約す。

残念ながら見学不能という事で我々が期待した事が出来なかった。国民感情がよくない事を表していた様な気がする我々の通訳は駒木という日本人でロスアンゼルスの大学であったが、全学連の影響を受けてか、カナダ領に二回行ったが二回共入国を許されなかった。我々の渡米は時期が良くなかった様に思う。ピッツバークのUSスチール見学が不能となる次のクリーブランドで見学予定のラムソンスチールも不能であり、然もクリーブランドの地方新聞には「日本の鉄螺界が見学に来るから気を付けろ」という様な記事が出ていた。これはクリーブランドにいる、ハロールドニスリーという人が我々に教えてくれ、気の毒だという事で親切に面倒を見てくれたホテルで一同協議して見学の方法を変更、明日からは完全なプランを立てニスリー氏に連絡を取って見るとお願して再会を約す。

戦地でつった雷魚

忘れ得ぬと富士銀行佐々木氏

つり自慢

富士銀行平支店長佐々木誠氏はつりのベテラン、親譲りの釣師で、父は晩秋のオヨギが出る頃ともなれば五日ぐらい泊り掛けで出掛け、獲物は焼いて背負って帰るという有様仙台市出身で、昭和十四年仙台から東京に転じ、海、川づりに余念がなかった。十九年五月応召、航空部隊で中支に転戦、上海、蘇州などで二十一年六月の帰還までの間、つりのお蔭で兵隊に動物性たん白質を与えることができた。上海の近くの王賓飛行場に居たころは炊事班長でクギでハリをつくり、雷魚を随分釣りあげた電気を川に通して魚に衝撃を与え名も知らぬ魚をとって兵食にもした。つりに忙しくそのため上海も蘇州の町も見る機会を失ったほどであった。

帰還して仙台支店に戻りお得意先の小使さんと三人で有名なユリアゲ浜から塩田までゆく途中初めてオヨギ二合ほど手に入れ附近の沼でハリを下したところスバの入れ食いでたちまち二貫五百目ほどあげ八間掘で八、九寸の大ブナ十四はかり、このオヨギを釣れなくてくさっていたある老人にくれてやったところこの人も大釣りに恵まれた。あとになってこの老人は山吉の社長さんであったことがわかり、わずかな餌を分けてやることはなかなか出来ないことだと大へんホメられて銀行のお得意さんになっていただいたこともある。

昨年福島支店から平に転任、在福中つり会長もやり、来平以来佐々木支店長は石城の海川のつり場は殆んど行き、昨年木戸川第二発電所ダムで尺ものハヤ十九、今年の五月茨城のヒ沼で尺三寸のふつこを揚げ、去る六日福島の松川浦における大会でボラ、ハヤなど二貫目近く揚げ一等となり凱歌を掌した。日曜は殆んど出掛け人生の楽しみをつりに託して健康を保ち愉快なその日を送っている。

男びかんアメ

★★★